

●実務体験プログラム

「学校支援・保健室支援ボランティア」

これから教職を目指す学生には、学校現場における多様な課題に対応する新たな学びが求められています。本学では、2022年度から学校現場の協力の下、学校実務体験プログラムを開始しました。教育・養護実習前に学校現場を知り教職員や児童生徒との交流を目的とした実践力を身に付けるための実務体験のボランティア活動です。

前期は、4年次の教育・養護実習生を対象に、後期は3年次対象に募集を行います。学校現場のニーズと学生の活動時間を調整して進めます。

●主な活動内容

教科の学習支援、通級児童生徒の学習支援等、養護教諭の補助、保健室・教室の掲示物作成、運動会準備(リボン作り等)、部活動指導支援等



★ 年間を通して、ボランティア活動の派遣依頼があります。条件は、有償、無償、交通費のみ等、自治体によって様々です。
可能な範囲で対応いたします。

●ボランティアを希望する学生へ

ボランティア活動は、自治体等の依頼を受けて教職 Teams で募集を行います。申込みに関する問合せは教員養成支援センター窓口で行います。

活動の際は、「学習支援ボランティア記録簿」をセンターで受取り、記録を取り、提出を求められた際は提出できるように準備をしておきましょう。

平成 年度	
公立大学法人 名桜大学	
学習支援ボランティア記録簿	
第 分冊	
氏 名 ()	学 生 番 号 ()
国際学部・人間健康学部 ()	学科・専攻 ()

学習支援ボランティア	
公立大学法人 名桜大学	

●実習前の実務体験プログラム参加者の声

- ・ 本当に行って良かったと思っています。採用試験の勉強や卒論がある中での事前実習ではありましたが、週に1回現場で学ぶ時間があったことにより、学びを深めたりモチベーションを維持したりすることができたと思います。
- ・ 事前実習を温かく受け入れてくださり、ありがとうございました。中学校での学びや先生のお話が、いつも私のモチベーション向上へつながっていました。今後もあきらめず、養護教諭を目指して勉学に励みます。

●自治体等への学生派遣

本学では、北部地域における学習支援ボランティア活動を推進しています。本事業は、地域のニーズに応じて実施する本学の地域貢献事業の一環です。この活動は、児童生徒の学力向上及び本学の教員養成の質向上という双方の支援を目的としています。現在、教員を志望する学生が積極的に参加し多くの深い学びを体験しています。

主なボランティア事業

- 国頭村滞在型学習支援ボランティア
(活動：年2回の4日間 人数：1回約2～4人)
- 離島3村滞在型学習支援ボランティア
(活動：夏休み期間 人数：1回約2～4人)
- 恩納村学力向上推進事業「未来塾」
(活動：6月～3月 人数：約7～9人)
- 宜野座村地区の受験対策学習支援
(活動：10月頃～3月頃 人数：各区1～5人)
など… (活動期間は過去の例で変更有)

●名護市学習支援教室「ぴゅあ」との連携

「ぴゅあ」は、本学の学生が講師として名護市主催で行っている学習支援事業です。「ぴゅあ」は名桜大学教室、大中区の第二教室「きじむなー」、屋部中学校「ていーだ」の3か所で、約60名の学生が活動しています。(顧問：嘉納英明教授)
ボランティア募集は、教職の授業で案内します。